

まちってなあに？

いえ、
みち、
やま、
いど、
はちのす
まちが
わらっとった

がく5さい



「まちぐるみ」で子どもたちと「まちづくり」を。

子どもたちの「見たい・知りたい」を心待ちにして出迎えてくださった南郷町の人々。「まちがわらっとった」という表現からは、子どもたちが受け取った南郷町の温かさを知ることができます。

今、加賀市にあるもの。豊かな自然、街並み、歴史の痕跡、伝統文化、住む人々、これらまちの資源は子どもたちにとってかけがえのないものです。

そしてそこに、このまちをよく知っている人々の力が加わることで、子どもたちの興味や学びは広がり、大人もまた、子どもたちの表現から、学べるものがあるのではないのでしょうか？



＼ まちの人からのコメント ＼

まちの皆さんは子ども目線でのびっくりするような言葉に驚き、その発想に感心していました。小さな言葉の掛け合いや笑顔を見て、何かできることはしてあげたい、見守りたいという気持ちが表情にも溢れていました。今後、子どもたちの成長に伴い環境が変化しても、関わる人々が縦横のつながりを継続させることで、さらに創造力が豊かになり相乗効果が生まれ、「まちがわらっとった」という気持ちをもっと広がっていくことでしょう。私自身も、子どもたちとまちや人をもっとつなげていきたいと強く思っています。



南郷地区まちづくり
推進協議会事務局
黒谷 京子 さん



「まちの未来」の鍵から。